

# HAT CROSS

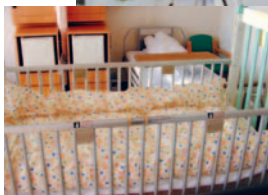
神戸赤十字病院広報誌  
2004. 春号 Vol.2



## 6F East Staff Station



6階東病棟スタッフ 正面左が 天野師長・吉新小児科部長 佐藤婦人科副部長



お待たせしました！

# 6階新病棟がオープン

## 院長の挨拶

昨年8月の開院後、平成15年度は定床310床のうち210床を稼働させ、病院の活動状況を見ながら新病棟開設時期の検討をしてきました。が、予想以上に早く稼働率が上がり、当院の基本姿勢である「入院依頼を断らないこと」が難しくなるほどになってきましたので、本年4月に6階東病棟（50床）、10月に6階西病棟（50床）を開設することに致しました。

病棟運用の基本的方針は今迄通り全科の共用としますが、4月に開設した6階東病棟は社会の要望に添えて、原則として女性・小児用の病棟にいたしました。病棟医の小児科吉新祥一郎長、天野智子看護師長を中心に、皆様で工夫をこらしてもらって、安全で快適な病棟となるよう努めています。より良い病棟にするため、利用される皆様方からいろいろのご意見を聞かせて戴ければ幸いです。

（院長 小川恭一）

## 病棟師長の挨拶

4月1日、6階東病棟がオープンします。小児科、婦人科を主体とする女性が中心の病棟になる予定です。昨年8月に4階・5階に4つの病棟がオープンして以来、多くの患者さまに利用していただいています。神戸赤十字病院には19の診療科があり、この4つの病棟に、混合で入っていたいただいております。お部屋がなくて入院を待っていたり、ご希望のお部屋に入院できなかったりといううなことが、再三ありました。6階東病棟が

オープンすることにより、そのようなご迷惑をおかけする事が少なくなることを期待しています。

このたびのオープンにあたり、6階東病棟の看護スタッフは、4階・5階からの異動と、4月1日に神戸赤十字病院に就職した職員で構成されます。師長はわたくし天野智子、看護係長は野村美智子、看護職員は総勢27名です。新規採用者も、様々な分野で経験を積んだ看護師と、免許とりたてばかりで、神戸赤十字病院で看護師としてのキャリアの第一歩を踏み出す、それこそ若葉マークのフレッシュさん等、最初は混成のチームで新たなスタートを切ります。

スタートするに当たっては病棟医の吉新祥一 小児科部長、佐藤朝臣 婦人科副部長、6階東病棟担当杉原千晶 薬剤師等と、より良い病棟にしていくために話し合いを重ねました。最初は未熟なチームではありますが、患者様方からご意見を頂き、多くの職員の支援も受け、安全・安心をモットーに、一丸となって明るく活発に切磋琢磨できるいいチーム作りをしていきたいと思っています。

（看護師長 天野智子）



# 診療科 クローズアップ

VOL.1

## 「患者さまのプライバシーに 配慮した医療を」

婦人科副部長 佐藤 朝臣



外来での診察にあたる佐藤副部長

「診療科クローズアップ」では、今後順次皆様に院内の各診療科より細やかな情報を提供していきたいと思えます。トッパバッテリーには6階東病棟開設に伴い、婦人科を特集しました。

？ こんな症状ありませんか

月経が不順である、不正性器出血がある  
月経時の痛みがひどい、出血が多い  
下腹部痛がある、おながが出てきた  
おりものが多い、においが気になる、かゆみがある  
外陰部にかたまりを触れる  
更年期障害  
(のぼせる、汗をかく、手足が冷える、夜眠れない)  
トイレが近い、残尿感がある、排尿時に痛みがある  
子供を授かりたい  
避妊したい  
月経が遅れている、妊娠しているのでは？  
子宮がん検診を受診したい、妊婦健診を受診したい

？ 婦人科の目指す医療は

病院の基本理念、患者の権利宣言にも述べられています。以下の点に力を入れています。  
婦人科ならびに妊娠初期の救急疾患に対応して夜間、休日を含め迅速に対応すること、腫瘍に対し、手術や放射線、抗がん剤等を組み合わせて、最適な治療を提供

すること、総合病院の利点を生かし、他の診療科と連携して治療にあたること、手術が必要な場合、膣式や腹腔鏡、子宮鏡などの低侵襲な術式を提案致します。開腹手術においても、抜糸やクリップの除去が不要で、傷の痛みや美容面に配慮した縫合を行い、さらにケロイドの予防処置を行っています。

多量の性器出血や子宮筋腫に対して、手術を避けたい、あるいは子宮の温存(残すこと)を希望される場合、放射線科の協力のもと、子宮動脈塞栓術を行っています。



エコー検査をする立岩医師

？ 婦人科からのお願い

当科では、患者さまのプライバシーに配慮し、診察室と内診室をひとつのスペースと考へ、一人ずつ入っていただくようにしています。そのため、診察に時間がかかる場合がありますので、はじめて受診される場合にも予約センター(電話

241-9273)を通じて予約していただくことをお勧めします。当科では分娩は取り扱っておりませんが、月経が遅れている、妊娠しているのでは?といった相談や、妊婦健診は可能です。里帰りの時期については、分娩先の医療機関の指示に従ってください。

佐藤 朝臣(さとう あそみ)

神戸大学平成2年卒  
神戸大学大学院平成7年卒  
米国ワシントン大学医学部留学平成7-9年  
日本産科婦人科学会専門医  
母体保護法指定医  
神戸大学医学部非常勤講師  
近畿産科婦人科学会内分泌研究部会委員

立岩 尚(たていわ ひさし)

富山医科薬科大学平成10年卒  
日本産科婦人科学会専門医



診察受付



# 洋上訓練報告

洋上で傷病者が発生した場合、医師・看護師などを海上保安庁の巡視船・航空機によって現場に急送し、治療を続けながら陸上の病院に搬送する救急活動は、1985年から始まりました。神戸市からは1989年に神戸掖済会病院から出動した実績があります。

訓練では神戸市内の四つの医療機関から医師・看護師が巡視船に乗り組み、設備見学とヘリコプターの試験飛行などを行いました。実際の救助場面では、悪天候により危険が伴うこともあります。



船内訓練の一コマ  
ヘリ前集合  
ヘリポートを備えた  
巡視船せつ



# よもやまばなし お薬 四方山話

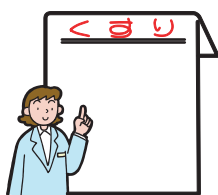
『院外処方箋を受け取ったら』

1

薬剤部部長 松林 照久

今まで病院でお薬をもらっていたのに、お薬のかわりに「院外処方箋」を渡された。お薬は今までと同じ？と不安に思われるかもしれません。ご心配いりません。この「院外処方箋」を保険薬局に渡しますと病院でもらっていたのと同じお薬が受け取れます。これが、厚生労働省が定める医薬分業です。医薬分業によって、患者様に最適のお薬が選択できることや、かかりつけ薬局を決めておけば、いろいろな病院で受け取られたお薬の重複（成分が重なってお薬の作用が強くなる）や相互作用（お薬の飲み併せで発現する副作用）を未然に

防止でき安心です。ちなみに、現在、全国で発行されている処方箋の50%以上が「院外処方箋」となっています。調剤できる薬局は、「処方箋受付 保険薬局」「保険調剤」「基準薬局」の表示をしています。「院外処方箋」をもらわれたのを機に、かかりつけ薬局を選ばれることをお勧めします。どこを選んでよいかわからない場合は院内の薬剤部をご利用ください。



## 柏餅の作り方

[1人あたり 160kcal]



材料（8人分）

上新粉（米粉）	120g	溶き水	15ml
ぬるま湯	100ml	濃し餡	160g
砂糖	40g	柏葉	8枚
片栗粉	15g		

作り方

上新粉に分量のぬるま湯を少しずつ加えながらこねて、耳たぶの硬さまで調整する。細かくちぎり、強火で蒸す（10分以内）冷水に取り出し均等な硬さにする。砂糖を少しずつ練りこみ、水溶性片栗粉を少しずつ練りこみ、8等分にまるめ、こしあん20gを餅生地に包み込む。柏の葉で包み強火で5分蒸す。

五月（端午）の節句に食べる代表的な餅菓子として「かしわもち」があります。蒸した上新粉の餅生地であんを包み、柏の葉でくるんだものです。柏の由来は古代にまで遡り、当時は食物を包んだり食器として使われた葉を、総称で炊葉（かしわ）などと呼んでいたそう、それが「かしわ」に転じ、現在の柏にその名が残ったという説があります。椿餅や桜餅、柏餅といった和菓子に、正月にかかせないウラジロや弁当などで活躍のバラ、杵や柿、笹の葉で包んだ寿司など、日本には葉を活用したものが数多くあります。これらは、古来より葉を器として使っていた名残ともいえますが、何かと役立つ効果があります。味移りを防ぐことに、持ち運びのしやすさ、手で直接食物に触れることなく、いただくことが出来るという利便性もあります。それぞれの葉が持つ芳香も期待できます。でも一番のポイント、殺菌・抗菌作用があることでしょうか。例えば魚を使った寿司も、酢を使うと共に笹や柿などの葉で包むことで、より保存性を高めることができます。現在では、ビニールなどの代用品が使われるなど、仕切りや飾りの役目としてのみに使われることが多くなりましたが、冷蔵庫のなかつた昔には、鮮度を保つたためにかかせないものだったのです。

栄養課  
だより



栄養課課長  
福井 俊弘

## なぎさモーニングレクチャー



毎週水曜日の朝7時50分から、各診療科の専門の医師より最新の話題等を中心にレクチャーを行っています。自由参加にも関わらず職員の関心は高く、医師のみならず看護師、コ・メディカル、事務職員も多数参加し毎回盛況です。日々進歩する医療に対応でき、少しでも患者さまのお役にたてるよう職員一同努力していきたいと考えております。

1	3/10	築部 Dr(心外)	急性大動脈解離の Up-to-date
2	3/17	藤井 D(消)	内視鏡的治療について
3	3/24	坂田 D(外)	腫瘍性膵嚢胞性疾患 自験例を中心に
4	3/31	細田 Dr(脳外)	最近の脳卒中の治療
5	4/7	高岡 D(循)	冠動脈インターベンションの Up-to-date
6	4/14	荒木 D(麻酔)	心臓のエネルギー消費
7	4/21	小林 D(救急部)	重症急性膵炎の診療
8	4/28	伊藤 D(整形)	救急外来における基本的整形外科的診察法

## HAT 健康セミナー報告

循環器副部長 黒田祐一

2月5日に第2回のHAT健康セミナーが開催されました。本セミナーはHAT神戸を中心とした地域住民の皆様の健康増進を目的としたものです。今回のテーマは「高血圧」で、第1回の「糖尿病」に引き続いて生活習慣病をとりあげました。高血圧という病気について、高血圧とストレスの関係、食事の注意点についての講演のあと、質疑応答が行われました。高血圧は脳梗塞・心筋梗塞といった心血管病の原因となる病気です。正しく治療することで心血管病の予防が可能です。今回のセミナーが参加していただいた皆様の健康維持に役立てば幸いです。



会場では血圧測定も

## 基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽に、明るく活力のある職場づくりに努めます。

## 患者の権利に関する宣言

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この、「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援して参ります。

### 1. 個人の尊重

個人として、その人格・価値観などが尊重されます。

### 2. 最善の医療を平等に受ける権利

最善の医療を平等に受ける権利があります。

### 3. 知る権利

自分が受けている医療について知る権利があります。

### 4. インフォームド・コンセント

自分が受ける検査や治療の内容や危険性、他の方法の有無などについて、十分に理解できるまで説明を受ける権利があります。

### 5. 自己決定権

十分な説明と情報提供をうけたうえで、自己の自由な意思に基づいて、治療方法を選択したり医療行為を拒否する権利があります。

### 6. プライバシーの権利

自分の情報を承認なしに第三者に開示されない権利があります。

## 6月1日から外来診察担当医表が変更になります

### H6.6.1 現在

科目		月	火	水	木	金	
診察受付1	整形外科 リハビリ テーショソ科	午前	伊藤	伊藤	甲斐	長谷川	伊藤
			中後 (リハビリ)	長谷川	戸田	中後 (リハビリ)	戸田
			柴原	甲斐	矢形	柴原	矢形
	脳神経外科	午前	細田	/	中村	細田	/
	心血管外科	午前	築部	築部	/	林	築部
	外科	午前	坂田	担当医	森	坂田	岡本
		門脇	/	田村	/	/	
麻酔科	午前	築地	大川	荒木	溝上	大川	
診察受付2	総合診療科	午前	岡林	沼田	高井	岡林	藤井
	内科	午前	高井	堀松	川島	高井	川島
			/	/	國定	/	岩本
	消化器科	午前	藤井	坂下	藤井	坂下	/
	呼吸器科	午前	沼田	梶本	/	沼田	梶本
	放射線科	午前	杉本	/	森	/	江島
	循環器科	午前	高岡	黒田	/	高岡	村田
	神経内科	午前	米田	/	米田	山本	/
心療内科	午前	村上	小笹	村上	小笹	村上	
	午後	/	村上 (初診予約)	/	村上 (初診予約)	/	
診察受付3	小児科	午前	吉新	山辺	吉新	山辺	吉新
			田村 (アトピー)	山辺 (乳児検診)	田村 (アトピー)	田村 (アトピー)	吉新 (腎・アレルギー)
		山辺	吉新 (予防接種)	山辺 (発達行動心身外来)	吉新	山辺	
眼科	午前	倉田	中西	倉田	倉田	倉田	
診察受付4	皮膚科	午前	/	山田	/	山田	/
	泌尿器科	午前	井上	井上	/	井上	井上(第1・3・5週) 彦坂(第2・4週)
	耳鼻科	午前	大津	貴名	大津	貴名	大津
	婦人科	午前	佐藤	立岩	佐藤	立岩	佐藤

受付時間 AM8:30 ~ AM11:30

診察のご予約は予約センターまでどうぞ (TEL: 241 9273)

## インフォメーション & トピックス



去る2月26日、モンゴル国で新しく開院された白樺病院(SHIRASHAWA HOSPITAL)のエンクツツグ(ENKHTSETSEG)院長(写真:小川院長の向かって左隣)が当院を訪問されました。

きっかけは、旧須磨・神戸病院の廃棄予定の医療機器などを、日本モンゴル白樺協会のお世話で当地に寄贈したことに對するお礼の意味で来院されたものです。

モンゴルの経済状況は極度に悪い為、

医療事情も日本のそれに比べ遅れていることから、新しくなった神戸赤十字病院をご覧になって、激しく感動されておられました。

来院された記念に、モンゴルの田園風景を爽やかなタッチで描かれた絵画をいただきました。当院の建設にあたり、『神戸の光と風』をイメージされた小川院長のフィーリングにピッタリはまった作品です。



左側より ENKHTSETSEG 院長、S/IC 院長、モンゴル協会の方